「（仮称）鳥取風力発電事業」の問題点

日本共産党は、大規模発電事業は環境にも、住民生活にも大きな問題があると考えます。本事業は、環境影響調査の各段階で経済産業大臣、環境大臣、知事、市長から周辺への影響が指摘されています。

☆経済産業大臣が「勧告」で問題を指摘

（18.08.06　環境影響評価方法書に対して）

合同会社NWE－０９インベストメント「（仮称）鳥取風力発電事業環境影響評価方法書」に対する勧告について

平成３０年８月６日
経済産業省
商務情報政策局
産業保安グループ

本日、電気事業法第４６条の８第１項の規定に基づき、（仮称）鳥取風力発電事業

☆環境大臣「環境への影響が懸念される」（17.11.10　環境影響評価配慮書への意見）

「本事業者は、同様の形態で他に５件の風力発電事業の環境影響評価手続きを並行して進めようとしていることに鑑みると、本事業に求められる環境配慮等が適切に実施されないことが懸念される。当該尾根付近には急峻な地形が多く、既設の道路が少ないことから、大規模な造成工事や道路工事に伴う土砂崩落及び河川・沢筋等への土砂、又は濁水の流出等による水環境及び動植物の生息・生育環境へ影響が懸念される。」

☆そもそも「計画区域内では希少動物が多く…具合が悪い」と専門家も指摘

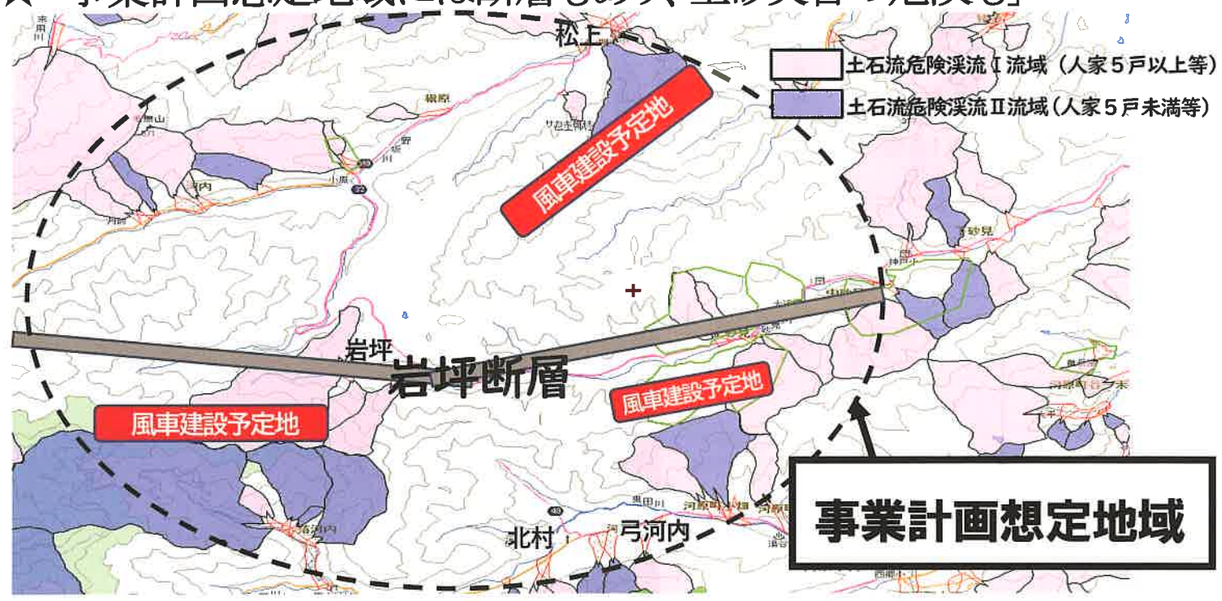
・イヌワシ（絶滅危惧Ⅰ類）＝繁殖地は、東部の山岳地域より大山山系まで確認されている。
・クマタカ（絶滅危惧Ⅰ類）＝県内全域の山地の森林。～レッドデータブックとっとり改訂版（２０１２年3月発行から抜粋）～
①事業計画想定地域のうち、イヌワシは高鉢山・高山・三滝渓は営巣地として著名
②〃　　〃　　クマタカは高鉢山・高山・三滝渓は生息地
・計画段階配慮書より抜粋

（１）専門家等へのヒアリング　大学教授（動物・鳥類学専門）
○イヌワシが衝突する可能性が考えられるエリアであり、かなり具合が悪い場所ではないかと思う。

（２）事業計画想定地域には希少種がこんなにも

希少種（種類数）	哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	その他3類
	14	84	4	11	142

☆「事業計画想定地域には断層もあり、土砂災害の危険も」



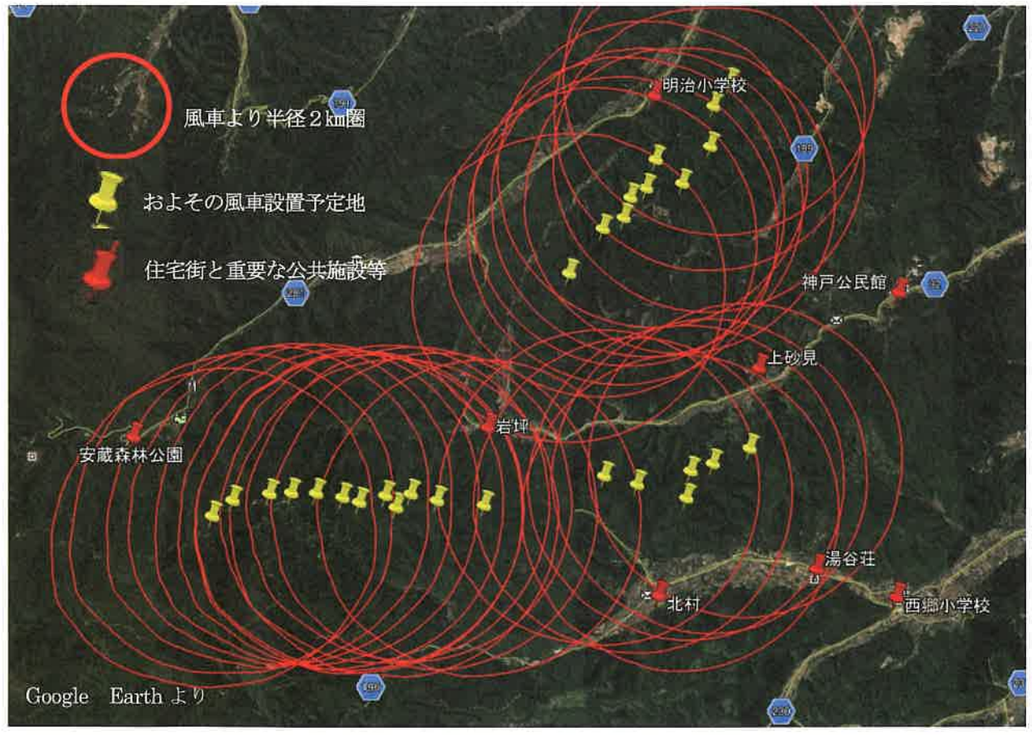
☆県知事「大幅な縮小や抜本的見直し必要」

（18.07.18　環境影響評価方法書への意見）

「環境影響評価方法書」には、基本的事項となる風車の配置、取付工事等の整備計画や切土・盛土の計画等、事業計画に関する具体的情報に乏しく、環境影響の調査、予測及び評価の手法についても、十分に検討されているとはいいがたく、環境への配慮や地元の理解醸成に万全を期しているとは認めがたい。環境影響の回避または低減が十分でないと評価した場合は、事業の大幅な縮小や廃止も含めて抜本的な見直しを行う必要がある。

☆鳥取市長「住民環境に影響を与える可能性がある」

（18.03.26　環境影響評価方法書への意見）

「事業実施想定区域の区域内にある住居及び明治小学校は、複数の風力発電機から影響を受ける可能性が懸念されるため、距離の確保や配置計画については十分配慮を行うこと。住民から比較的近い位置に設置が予定されるため、風車騒音の騒音レベルに関わらず、住民環境に影響を与える可能性があると考えられる。」

☆「風車建設予定地から２ｋｍ圏…広範囲に影響」